

## 事業名：「中小企業再生支援事業」

### 外部有識者委員のコメント

- 必要性は認められるが、本当に必要な事業に必要な資金がいつているか、また、フォローアップの際には、優良な企業とそうでない企業は選別すべきではないか
- 債権買取後のフォローは5年程度が妥当ではないか
- 経営困難な原因も震災以外の災害や市場環境変化によるものが多くなり、その他の支援施策等の様々な助言指導でカバーできる余地が大きい
- この規模の資源の投入を継続するのに見合う効果があることが十分に明らかにされていない
- 所轄の一般的全国的な中小企業再生支援事業との統合を図るべきではないか
- これまでの知見・実績を積極的に対外発信すること

### 外部有識者委員のとりまとめ結果

#### 「事業内容の一部改善」

#### <とりまとめコメント>

- 本当に必要な事業者に必要な予算が行っているか、引続き予算の執行率を高めて、終期を見据えて適正な予算水準にしていくこと
- 事業を効率的に実施しているかその効果を検証できるような指標を示すべき

・「廃止」	0名
・「事業全体の抜本的改善」	2名
・「事業内容の一部改善」	3名
・「現状通り」	1名

## 事業名：「放射性物質汚染廃棄物処理事業」

### 外部有識者委員のコメント

- 地域住民にとって安心感に代えられない重要な事業であると考えるが、時間が相当かかってしまっており、効率性が追及されていないことは問題なのではないか
- 1者応札や随意契約などが多い、効率性や価格を厳格に見る必要がある
- 入札の際の競争が担保されるように引き続き工夫が行われるべき
- 費用削減のために必要な努力が適切にされているが、もう一步踏み込んで競争性の問題を考えるべき
- 契約の初期のみ競争性が働く事業については、その初期の入札・契約条件が適切であったことを積極的に国民に示すべき
- 不祥事はコンプライアンスの問題だけでなく、価格の問題でもあることを再認識すべき

### 外部有識者委員のとりまとめ結果

#### 「事業内容の一部改善」

#### <とりまとめコメント>

- 適正な受注価格の水準を維持できるよう価格の適正さの保証及び法令・モラルの遵守を指導・徹底すること
- 1者入札や随意契約が非常に多いなど透明性や効率性において改善の余地があり、原因をよく分析し、入札・契約方式における競合性が確保できるように努めるべき

・「廃止」	0名
・「事業全体の抜本的改善」	0名
・「事業内容の一部改善」	6名
・「現状通り」	0名